認知症サポーター56人を認定しました！

昨年12月21日、市立図書館において、つくばみらい市認知症サポーター養成講座が行われました。

講座では、社会福祉法人青州会どんぐり村の認知症介護アドバイザー坂上香奈子（さかうえかなこ）氏を講師に招き、認知症とはどのような病気なのかなどを、分かりやすく講義していただき、最後に地域包括支援センターより認知症相談窓口の紹介を行いました。

質疑応答では、認知症を理解しようと、参加者の皆さんが積極的に質問していました。

受講された56人の方に、認知症の方を支援する目印としてオレンジリングを交付し、「市認知症サポーター」として認定しました。

受講後のアンケートでは、「数多くの人々にオレンジリングの輪を広げたい」「周囲により関心をもちたい」「男性の参加が多く驚いた」などの感想が寄せられました。

参加者を地域別にみると、小張・板橋・東地区19人、豊・谷井田・三島地区21人、谷和原地区13人、市外3人で、60代の参加者が最も多く全体の約半数を占めていました。

認知症の方とその家族を支え、やさしさとやすらぎにあふれるまちを、地域の皆さんと一緒につくっていくために、21年度も引き続き認知症サポーター養成講座を行い、より多くの認知症サポーターを養成していく予定ですので、ぜひご参加ください。

熱心に聞き入る参加者の皆さん

成人おめでとう!!
４４０人が大人の仲間入り

市長を交え地区ごとの記念撮影

1月11日、市総合運動公園体育館で、「つくばみらい市成人式」が開催されました。

今年の新成人は、昭和63年4月2日から平成元年4月1日生まれの４４０人。うち３１５人が成人式に参加しました。

式は、新成人の有志で組織された成人式実行委員会によって、厳粛に執り行われました。

飯島市長からは、「まちづくりに積極的に参加され、自分たちの住むこの郷土に誇りをもって歩んでいかれることを期待しています。」と式辞が述べられ、来賓の皆さまからは、たくさんの祝辞をいただきました。

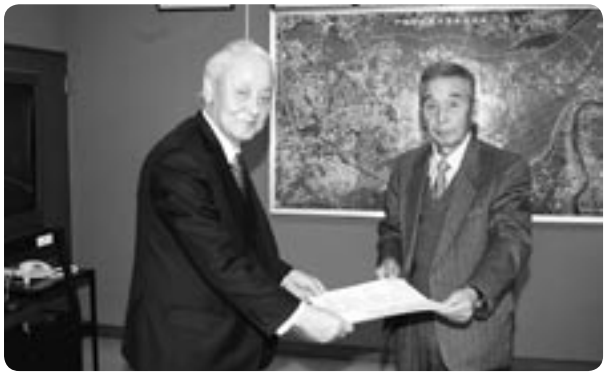
最後に、新成人を代表して荒井逸伸（あらいいとのぶ）さんが、「将来に向かって大きな希望と夢を抱き、これから待ち受ける多くの課題に立ち向かい、明るい未来をつくりあげていく原動力になりたい。」と、『誓いの言葉』を力強く述べられました。

式終了後は、記念撮影が行われ、新成人の皆さんは、久しぶりに再会した友人や恩師と懐かしい思い出に話が弾み、終始笑顔がこぼれていました。

市補助金等審議会から答申

1月21日、市長の諮問を受け、市が各団体に交付する補助金のあり方や補助額、補助率について、適正で効果的な財政運営を推進するため審議を行う「つくばみらい市補助金等審議会」（会長・岩佐勝廣（いわさかつひろ）氏）より、飯島市長へ答申が行われました。

審議会は、市内の識見者3人と議会から3人、市職員3人の計9人で構成され、各団体から提出された補助金要望書を個別に審査し、慎重な審議が行われ、その結果が答申されたものです。



答申書を飯島市長に手渡す岩佐会長（右）